

感染状況初のステージ3

県引き上げ「県外往来自粛を」

新型コロナウイルスの感染の急拡大を受け、県は6日、対策本部会議を開き、感染状況を示すステージを2から初めて3に引き上げた。大分、別府市では12日から飲食店に午後9時までの営業時間短縮を要請したうえで、両市民に不要不急の外出自粛を求め、県民には県外への往来自粛を呼びかけた。

県によると、直近の2週間の感染者は約700人となった。医療機関の負担を示す病床使用率は5割近くに達し、ステージの引き上げを判断した。

国の飲食店支援事業「G

OTO イート」のプレ

ミアム付き食事券は販売停

止期間を5月末まで延長

し、両市での利用はテイクアウトを除いて控えてもらう。県内旅行を対象とした「新しいおおいた旅割」は予約を停止し、予約済みの場合の利用は9日までとした。

会議後の記者会見で広瀬

知事は「変異ウイルスの威

力が想像以上で感染者数が

高止まりしている」と危機感を示した。緊急事態宣言に準じた対策が可能となる

コロナ新たに47

県と大分市は6日、10歳代から80歳以上の47人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。別府市の飲食店「スナック ももたろう」と大分市の事業所でクラスター（感染集団）が確

ナ感日地 2514120200

口の6居

新型コロナウイルス感染者数

＊感染者数発表分、別府市、津市、田市、伯市、杵市、久見市、竹田市、大分市、津市、田市、伯市、杵市、久見市、竹田市

大分に拡大 請要短時

大分、別府以外は14日から 外出自粛も求める

大分県は11日、大分、別府両市の飲食店に出した午後9時までの営業時間短縮の要請を全市町村に広げると発表した。新型コロナウイルス感染の高止まりが続く、他の市町村から時短の要請が出ていることを受けた措置。大分、別府両市は12日から、それ以外の地域は14日から実施し、応じた事業者には協力を金を支給する。31日まで。不要不急の外出や県をまたぐ往來の自粛を全ての県民に求めた。

(24、25面に関連記事)

県内全域に拡大する感染対策

- 不要不急の外出の自粛
- 飲食店の営業を午後9時までに短縮
(大分、別府両市は12日～、その他は14日～)
- おおいた味力食うぽん券の利用自粛
(テークアウト除く)

会見で感染防止に向けた協力を県民に呼び掛ける佐藤勝典知事(11日、県庁)

県の感染症対策本部会議で決めた。時短要請の対象は県内で飲食店・喫茶店の営業許可を受けたレストラン、居酒屋、バー、スナックなど最大計1万142店になる。

「おおいた味力食うぽん券」の利用は持ち帰りを除いて控えるよう、県内全域に呼び掛ける。

感染力の強い変異株への置き換わりが進み、県は6日に感染状況の評価を上から2番目の「ステージ3(急増)」に引き上げた。大分、別府両市の飲食店への時短要請を決めるなど対策強化を打ち出したものの、8日に過去最多の1万3千人が

新型コロナ

規感染者を確認するなど、感染拡大を抑えられない状況が続いている。

国民投票

憲法改正手続きに関する国民投票法改正案は11日の衆院本会議で、自民、立憲民主、公明各党などの賛成多数により可決され、衆院を通過した。自民、立憲両党は6月16日までの今国会成立で合意しており、参院では今月12日に憲法審査会幹事懇談会を開き、19日の審議入りに向けて協議する。一方、政界のスポット

国民投票法改正案のポイント

に会と増を加緊 上市を都市議

令和3年5月12日 大分合同新聞

イート食事券 期限12月末に

政府、感染拡大で

【新型コロナ】

政府は14日、新型コロナウイルス感染症拡大で打撃を受けた飲食業界の支援策「Go To イート」のプレミアム付き食事券に關し、最長6月末までとした利用期限を最長12月末までに再延長すると決めた。感染が収まらず利用が進まない地域が多いため、販売停止などの自粛期間

に於いて地域ごとに延長幅が異なる仕組みで、対応は各都道府県の判断に委ねる。

政府は昨年12月に決定した追加経済対策で、食事券の利用期限を今年3月末から6月末に延長した。ただ地域によっては4月以降も感染拡大で販売停止や利用抑制の呼び掛けが行われるなど難しい状況が続いている。

販売停止や利用抑制の呼び掛けをした期間と同じ期間、7月以降に食事券を利用できるようにする。4～6月に自粛期間を設けなかった地域は原則6月末までで利用期限が終わるが、延長の相談などは受け付ける。

販売期限については地域で柔軟に設定できるが、食事券の販売終了後、利用のみで最低1カ月間を確保するように求める。

令和3年5月15日 大分合同新聞

Go To イート 食事券 販売一時停止を延長

県と大分商工会議所（大分市長浜町）は27日、国の

の措置。

飲食店支援事業「Go To イート」食事券の販売一時停止と利用自粛要請を来月13日まで延長すると発表した。県が打ち出した飲食店の時短営業延長を受け

県内は新型コロナウイルスの感染者急増に伴い、4月29日から第2弾25万冊30億円の販売を一時停止。時短要請が始まった12日以降、テイクアウト以外の利用控えを呼び掛けてい

た。

食事券は1セット1万円で1万2千円分（500円券24枚）使える。再開後の販売期間は7月15日まで、利用は8月15日まで。

（富高萌南実）

令和3年5月28日 大分合同新聞

県 時短要請13日で解除

優先接種、高3追加

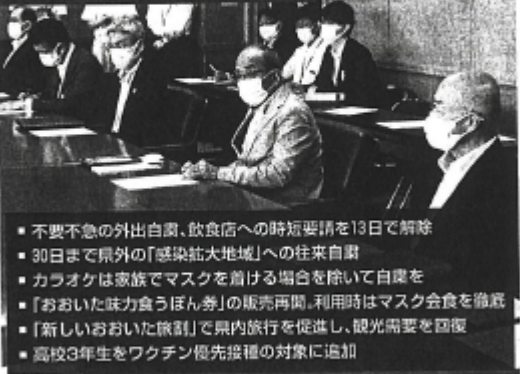
ステージ2に引き下げ

大分県は10日、県内の新型コロナウイルスの感染状況が改善したとして、4段階のステージを「3」（急増）から「2」（漸増）に引き下げた。5月14日から県全域に要請していた飲食店の午後9時までの時短営業が、不要不急の外出自粛は期限の6月13日で解除する。リバウンド（再拡大）を抑えるため、今月末までは県外の「感染拡大地域」との往来は引き続き自粛を求める。（22、23面に関連記事）

新型 コロナ

この日の県感染症対策本部会議で決めた。14日以降はプレミアム付き食券や県内旅行割引を再開し、苦境にある飲食・観光業の需要回復を進める。県独自のワクチン優先接種の対象に、受験や就職を控えた高校3年生（約1万人）を新たに追加した。優先枠のうち、幼稚園教師や保育士らについては昭和電気工芸道スポーツセンター（大分市横尾）に県直営の接種会場を設けて対応する。

大分県 今後の対応のポイント



- 不要不急の外出自粛、飲食店への時短要請を13日で解除
- 30日まで県外の「感染拡大地域」への往来自粛
- カラオケは家族でマスクを着ける場合を除いて自粛を
- 「おおいたは力食うばん券」の販売再開。利用時はマスク着用を徹底
- 「新しいおおいた旅割」で県内旅行を促進し、観光需要を回復
- 高校3年生をワクチン優先接種の対象に追加

ステージ2への引き下げを決めた大分県の新型コロナウイルス感染症対策本部会議（10日、県庁、撮影・大畑信）

続けるよう求めた。社会・経済の再活性化に向けた取り組みも発表し、一時停止していたG・O・T（観光・食・文化）は、14日から販売を再開。感染拡大を防ぐため、利用する際は人数、短時間でマスク着用を徹底した場外利用を求めている。仕切りとなるアクリル板の設置や飲食店の対策を第三者が確認する制

高額プラン勧誘是正を 携帯大手3社に指導へ

公取委

公正取引委員会は10日、携帯電話市場の競争報告書を公表した。大手3社が代理店への詳細制度で高額な大容量の契約を重視し、客の利用実態に合わないプランの勧誘を助長している懸念があると指摘。代理店に對し、端末の販売価格を抑

大分県の感染状況と指標

	6月10日現在	5月14日時点
病床使用率	21.0% (92/438床)	52.2% (218/418床)
重症病床の使用率	7.0% (3/43床)	11.6% (5/43床)
入院率	82.9% (92/111人)	33.2% (218/656人)
療養者数 ※人口10万人当たり	9.78 (111人)	57.8 (656人)
新規感染者数 ※人口10万人当たり	2.91 (33人)	47.93 (544人)
感染経路 不明者割合	27.3% (9/33人)	42.1% (229/544人)
PCR陽性率	0.53% (33/6200件)	4.88% (544/11146件)

ステージ 1…激発 2…漸増 3…急増 4…爆発

度を超え、県民向けに申請受け付けへ準備を進め、5月6日、感染状況の推移を「ステージ3」に引き上げ、不要不急の外出自粛を要請した。同日から初めて公共、民間両方の飲食店を対象に午後9時までの時短営業を要請し、同日からは県民に要する。当初は月あたり1回、受け付けを始める。（日経新聞）

時短99%の店協力

要請解除 知事、県民理解に感謝

新型コロナウイルス対策として県が要請した営業時間の短縮要請が終わり、飲食店は14日から通常営業が可能になった。期間中は99%以上の店が要請に応じ、このうち77%が協力金の申請手続きを終えた。解除を受け、広瀬知事は「県民の理解と協力で大きな成果を上げることが出来た」と総括した。

14日の定例記者会見で広瀬知事は、要請最終日となった13日の新規感染者がゼロになったことに触れ、「ことのほかうれしかった」と述べた。引き続き警戒を続けることも呼びかけており、感染力が強い変異ウイルスを念頭に、手指消毒やマスク着用といった従来の対策の徹底を求めた。

要請は5月12日から大分、別府市で始まり、14日から県内全域に拡大された。営業時間は午後9時まで、酒類のオーダーストップは午後8時までとする内容で約1か月に及んだ。県の調査では、対象となった飲食店7559店のうち、99%以上の店が協力したという。

1日2万5000〜7万5000円の協力金は、5、6月分の2回に分けて給付する。5月分の申請は13日時点で約2100件となった。県は申請から2週間をめぐりに給付する方針。問い合わせは、県時短要請協力金事務局コールセンター（050・68868・9518）へ。受付時間は午前9時〜午後6時（土日祝は除く）。

GOTO食事券販売再開

県内の飲食店への営業時間の短縮要請が解除されたことを受け、国の飲食店支援事業「GOTO イート」のプレミアム付き食事券の販売が14日に再開された。県内の飲食店約3000店で、8月15日まで利用できる。



食事券を購入する会社員（左）（大分市の大分商工会議所で）

によると、食事券「おおいた味力食うぽん券」で、販売価格は1冊1万円。2000円のプレミアムを含め、1万2000円分を利用できる。4月21日から販売を始めたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で4月29日から一時停止となっていた。

大分市の販売会場では、さっそく買い求める人たちが訪れた。大分商工会議所の担当者は「マスク会食といった感染対策を十分にとり、おいしい料理を楽しんでほしい」と話した。問い合わせはコールセンター（097・536・5210）へ。

新たに1人感染

県は14日、80歳以上の女性1人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。13日は6日ぶりに新規感染者がいなかった。発表によると、クラスター（感染集団）が確認されている宇佐市の病院に入院

※新型コロナウイルスの感染者数（14日発表分、居住地別）

宇佐市	1
合計	1

G.O.T.O. 食うぽん券 販売 あすまで

新型コロナウイルスの影響で売り上げが減少した飲食店を支援するため、県内で販売している「おおいた味力食うぽん券」第2弾は、15日で販売を終了する。

国の「G.O.T.O. イート事業。1冊1万円で1万2千円分（500円券24枚）使える。準備した25万冊のうち、10日時点で約7割が売れているという。使

用期限は8月15日。

県事務局の大分商工会議所は「これから4連休や夏休みが来る。感染対策に気を配りながら、食うぽん券を持って家族や友人と飲食店に足を運んでほしい」と話している。（小川夏生）

令和3年7月14日 大分合同新聞

イート食事券 おおいた旅割 利用、販売を再開

新型 コロナ

新型コロナウイルス感染症対策として県が県民に呼び掛けた不要不急の外出自粛

と、県内全域の飲食店に要請した時短営業の解除に合わせ、国の「G.O.T.O. イート」食事券事業と県の「新しいおおいた旅割」の利用や販売が14日から再開

した。
G.O.T.O. イート食事券「おおいた味力食うぽん券」は、1セット1万円で1万2千円分（500円券24枚）使える。販売は7月

15日まで、利用は8月15日までの予定。旅割は県内旅行の代金を1人当たり最大1泊5千円、日帰りツアーは2500円を割り引く。8月末までに販売したツアー商品や施設への予約が対象で、12月末まで利用できる。（富高萌南実）

令和3年6月15日 大分合同新聞

15:34

4G 62%



obstopicar



いいね!: maizurusyuhan、他
obstopicar .

大分商工会議所から、
Go To Eatキャンペーンに関する大切なお知らせをお
伝えしました🍴🌟

Go To Eat 食事券『おおいた味力食うぽん券』の利用
期間が第1弾、第2弾ともに今度の日曜日(15日)で終了
となります👤!!

返金の対応はできませんので、使い忘れにご注意下さ
い🙏🙏



令和3年8月10日 Instagram OBSTOPICAR